豊かな収穫へ行進!!

無人航空機
散布に対応

野菜用殺菌剤

パレード®20 フロアブル

適用拡大

〈写真はイメージです〉

菌核病・灰色かび病など

幅広い病害に高い効果を発揮!!
適用作物への薬害リスクが極めて低い!

あずき／菌核病

ブロッコリー／黒すす病

レタス／菌核病

たまねぎ／灰色腐敗病

ねぎ／黒腐菌核病

いちご／灰色かび病

農林水産省登録第24071号

Ⓡは日本農薬(株)の登録商標

ISK 石原バイオサイエンス株式会社

殺菌剤 パレード®20フロアブル

有効成分：ピラジフルミド…20.0%
安 全 性：普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）

特長

パレード20フロアブルは新規有効成分「ピラジフルミド」を含有する野菜・畑作・花き用SDHI殺菌剤です。

■幅広い病害スペクトラムを有します
菌核病、うどんこ病、灰色かび病等、幅広い病害に対し高い効果を示します。

■効果持続性に優れます
降雨の影響を受けにくく、また葉内への浸達性を有し効果持続性に優れます。

■適用作物への薬害リスクが極めて低く使いやすい薬剤です
幅広い作物で栽培期間を通して使用できます。また多くの種類の作物で収穫前日まで使用できます。葉菜類、はなやさい類にはセルトレイ灌注処理もできます。

適用病害虫および使用方法

が2025年7月に適用拡大になりました

2025年7月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ピラジフルミドを含む農薬の総使用回数
豆類（種実、ただし、らっかせいを除く） 豆類（未成熟）	菌核病、灰色かび病、うどんこ病（だいず、さやえんどう）、褐紋病（さやえんどう）	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
	褐色輪紋病（だいず）、さび病（あずき、さやえんどう）	2000倍					
トマト ミニトマト	灰色かび病、葉かび病、うどんこ病、菌核病、斑点病	2000～4000倍					
	すすかび病	2000倍					
な す	灰色かび病、すすかび病、菌核病、うどんこ病、黒枯病	2000～4000倍					
ししとう	うどんこ病、黒枯病						
きゅうり	灰色かび病、菌核病、うどんこ病、褐斑病、つる枯病						
ズッキーニ、にがうり	うどんこ病						
うり類（成熟）*1	うどんこ病、つる枯病（すいか、メロン）、菌核病（すいか、メロン）						
	うどんこ病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
はくさい	黒斑病、白斑病、菌核病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a			散布	3回以内（灌注は1回以内）
	菌核病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
	苗立枯病（リゾクトニア菌）、菌核病	100倍	※	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
キャベツ	菌核病、苗立枯病（リゾクトニア菌）、根朽病						
	菌核病、株腐病、根朽病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	菌核病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
はなやさい類*2	菌核病、黒すす病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
		16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
	苗立枯病（リゾクトニア菌）	100倍	※	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	
なばな類	菌核病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	3回以内（灌注は1回以内、散布は2回以内）
		100倍	※	定植当日	1回	灌注	
レタス 非結球レタス	菌核病、すそ枯病、白絹病			育苗期後半～定植当日			3回以内（灌注は1回以内）
	菌核病、灰色かび病、すそ枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	白絹病	2000倍					
	菌核病、灰色かび病	16倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		20倍	2.0ℓ/10a				
		32倍	3.2ℓ/10a				
にんじん	黒葉枯病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
たまねぎ	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病						
	黒腐菌核病	2000倍					
	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病	20倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		25倍	2.0ℓ/10a				
		40倍	3.2ℓ/10a				
にんにく	黒腐菌核病	原液	種球重量の1%	植付前	1回	種球塗沫	3回以内（種球塗沫は1回以内、散布は2回以内）
	葉枯病	2000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
に ら	白斑葉枯病	2000～4000倍			3回以内		3回以内
	白絹病、褐色葉枯病	2000倍					
ね ぎ	黒腐菌核病	100倍	※	育苗期後半～定植当日	1回	灌注	3回以内（灌注及び浸漬は合計1回以内）
		20倍～50倍	—	定植直前		5～10分間苗根部浸漬	
	黒斑病、葉枯病、小菌核腐敗病、小菌核病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	
	さび病、黒腐菌核病、白絹病	2000倍					
	黒斑病、葉枯病、さび病	20倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		25倍	2.0ℓ/10a				
		40倍	3.2ℓ/10a				
いちご	うどんこ病、灰色かび病	2000～4000倍	100～300ℓ/10a			散布	3回以内
ピーマン	うどんこ病、黒枯病、灰色かび病						
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病	2000倍	100～700ℓ/10a				
		8倍	1.6ℓ/10a			無人航空機による散布	
		10倍	2.0ℓ/10a				
		16倍	3.2ℓ/10a				
花き類・観葉植物（ばら、きく、りんどう、ゆり、トルコギキョウを除く）	うどんこ病	4000倍	100～300ℓ/10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内
ば ら	黒星病						
き く	白さび病	2000～4000倍					
	うどんこ病	4000倍					
	褐斑病	2000倍					
ゆ り	葉枯病						
りんどう	黒斑病、花腐菌核病						
	褐斑病、葉枯病			発病前			
トルコギキョウ	うどんこ病	4000倍		発病初期			
	斑点病	2000～4000倍					

※ セル成型育苗トレイ1箱または、ベーパーポット1冊（約30×60cm、使用土壌約1.5～4ℓ）当り0.5ℓ
*1 うり類（成熟）… かぼちゃ、すいか、漬物用すいか、ツノニガウリ、まくわうり、漬物用まくわうり、メロン、漬物用メロンが含まれます。
*2 はなやさい類 … ブロッコリー、茎ブロッコリー、カリフラワーが含まれます。

注意事項

■薬剤耐性菌の出現を防ぐため、過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
■みずかけな（水掛菜）、カラー及び花はすに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
■灌注で使用する場合には、次の注意事項を守ってください。
①調製液をセル成型育苗トレイ又はベーパーポット上方から全体に行き渡るように灌注してください。また、薬剤の効果を十分に発現させるために、処理直前や直後の灌水はさけてください。
②キャベツ又ははくさいの苗立枯病に使用する場合、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効ですが他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、リゾクトニア菌以外による苗立枯病の混発が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
③キャベツの根朽病に使用する場合、育苗期間中の感染が主であるため、育苗期間を主体に使用することが望ましいです。
④レタスのすそ枯病に使用する場合、灌注処理での効果は生育初中期が主体であるため、その後の発生が予想される場合には他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
■無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意事項を守ってください。
①散布は散布機種の散布基準に従って実施してください。
②散布に当っては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
④散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に被害を生じるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
⑤散布終了後は次の項目を守ってください。
(a)使用後の空の容器は放置せず、適切に処理してください。
(b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
■にんにくの種球に塗沫する場合には、次の注意事項を守ってください。
①使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
②薬剤が種球に均一に付着するよう処理した後、乾燥させてください。
■適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましく、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
■使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
■作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
■かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
■浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

ISK 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス https://ibj.iskweb.co.jp

ホームページの製品情報へ

取り扱い